

# 1. 2 おすすめぶっくりすと



## 低学年向け①

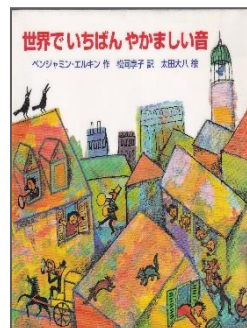


### 『わかったさんのマドレーヌ』

寺村 輝夫 作  
永井 郁子 絵                      あかね書房

海ぞく船マドレーヌ号からわかったさんの前にあらわれた海ぞくたち。どうやらマドレーヌひめのめいれいで「たからもの」をさがしているらしい。いったいどんなたからものなのでしょう。

91 テ

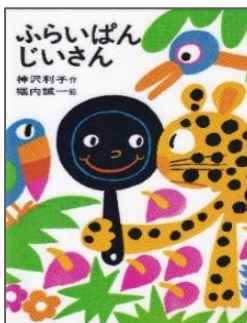


### 『世界でいちばんやかましい音』

ベンジャミン・エルクソン 作      松岡 享子 訳  
太田 大八 絵                              こぐま社

せかいで一番やかましい町ガヤガヤ。ある日王子さまが、「せかいで一番やかましい音が聞きたい」と言いました。いったい、どんな音なのでしょう。

93 イ



### 『ふらいぱんじいさん』

神沢 利子 作  
堀内 誠一 絵                      あかね書房

たまごをやくのがだいすきなふらいぱんじいさんは、ある日、たびに出ることにします。いろいろなものに出会いながら、さい後にはじいさんにぴったりのしごとが見つかります。

91 カ

### 『ルルとララのカップケーキ』

あんびるやすこ 作 絵                      岩崎書店

かえでの森のメープル通りに、新しくできたおかしやの店長さんは小学生のルルとララ。森のどうぶつたちといっしょに、いろいろなおかしをつくるシリーズのはじまりはじまり。

91 ア



### 『ジオジオのパンやさん』

岸田 衿子 作  
中谷 千代子 絵                      あかね書房

歌いながらパンを作る、らいおんのジオジオ。森の中や、野原のはじまで歌声が聞こえるので、まい日いろいろなおきゃくさんがパンを買いに来ます。

91 キ



### 『じゃんけんのすきな女の子』

松岡 享子 作  
大社 玲子 絵                      Gakken

お父さんとお母さんの言うことをきかず、朝からばんまで、なんでもじゃんけんできめる女の子。すると、うでぐみをしたねこがあらわれたのです。

91 マ



# 1.2 おすすめぶっくりすと



## 低学年向け②



### 『エルマーのぼうけん』

ルス・スタイルス・ガネット 作 わたなべ しげお 訳  
ルス・クリスマン・ガネット 絵 福音館書店

エルマーは、どうぶつじまではたらかされているかわいそうなりゅうの子を、たすけにむかいます。ガムやキャンデー、虫めがね、たくさんのもつをリュックにつめて出ぱつです。

93 ガ



### 『たんたのたんてい』

中川 李枝子 作  
山脇 百合子 絵 Gakken

お父さんにはいたつするしんぶんをとろうと、ゆうびんうけをあけると、しんぶんのかわりにでこぼこのチューブが入っています。そこにかかれた字をてがかりに、たんていにでかけます。

91 ナ



### 『ものぐさトミー』

ペー・デュボア 文・絵  
松岡 享子 訳 岩波書店

トミーのベッドは、朝になると自どうでうごきだします。朝のみじたくも、すべてきかいがやってくれるのです。でも、ある日のこと、てい電がおきたのです！

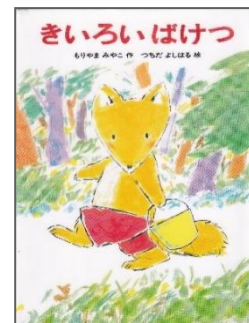
93 デ

### 『きいろいばけつ』

もりやま みやこ 作  
つちだ よしはる 絵 あかね書房

きつねの子が、きいろいばけつを見つけました。前から、こんなばけつがほしかったのです。一週間のあいだ、だれもとりに来なかったら、自分のものにすることにします。

91 モ

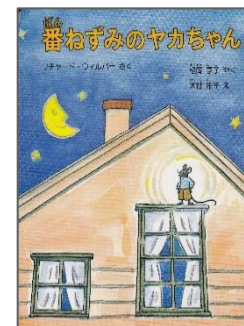


### 『番ねずみのヤカちゃん』

リチャード・ウィルバー 作 松岡 享子 訳  
大社 玲子 絵 福音館書店

いえの中に、ねずみがいることをしられないように、お母さんのいつけをまもっている子ねずみたち。でも、すえっこのヤカちゃんだけ、どうしても大きな声が出てしまうのです。

93 ウ



### 『あおい目のこねこ』

ゴン・マチセン 作・絵  
せた ていじ 訳 福音館書店

青い目のねこを見たことがありますか？この本のしゅ人公は、とってもきれいな青い目のねこ。だれもしらないばしょにあるねずみの国をさがしに出かけます。

94 マ

